

系数たかこ通信 那覇市議会活動報告

〒902-0066 那覇市大道169-4 コーポ花城B-102 すぱーす・結内
電話:080-3903-2948 e-mail:itokazu.takako@space-yui.com
後援会ホームページ:https://itokazu-takako.com



2月議会はジャイアンツカラーでスタートします

系数 たかこ通信

8号

2024 7・15



たかこ通信は紙面ではなく、EメールでPDFを送ることもできます。Eメール受信に変更したい方は、上記メールアドレスに、お名前と現在通信を受け取っているご住所、PDFデータでの通信受け取りに変更したい旨ご連絡ください。

また事件が起きました。沖縄の少女が被害にあいました。

米兵が昨年十二月に十六歳以下の少女を自宅に連れ帰り性暴力を行い、那覇地検が三月二十七日に起訴。この間、沖縄県に知らされることなく、五月には別の性暴力事件も発生していました。

そういうえば、最近米軍による事件・事故の報道が減っていった。綱紀粛正、教育の徹底、私たちが強く要望してきた結果ではなく、起こり続けている事件事故を公表せずにとわけて。この間に日米首脳会談があり、県議選挙があり、慰霊の日がありました。情報操作は民主主義国家として、許されることでしょうか。

平和のためにという言葉で、子どもや女性の日常の平和が犠牲になっている現状。それを押し付ける日米両政府に抗議します。

そして、被害にあつた人に、どうしても伝えたいです。

被害にあつたあなたは悪くありません。悪いのは加害者です。

加害者が考えて、加害者が計画し、加害者が行動したんです。巻き込まれたあなたは、少しも悪くありません。

わたしはあなたのことを知らないけれど、あなたが悪くないこと、勇気を出して告発したことはわかります。

今も苦しんでいることは女性として想像できます。

何度でも言いたい。あなたは悪くありません。

そして、被害にあつたことを誰にも話せないまま、今回の事件を知って苦しんでいる人へ
あなたも悪くない。ぜったいに悪くないです。

8号は、2024年2月定例会と、6月定例会を中心に報告します。前回までの通信から少し様式を変えました。ご意見、ご感想などいただけると嬉しいですよ。

2月議会 代表質問2月15日

防災行政

防災については、主にミルクの備蓄状況や福祉避難所のこと、女性や子どもの安全対策について質問しました。

ミルクは以前は備蓄していたそうなのですが、賞味期限が短いので現在は備蓄はしておらず、大手量販店と協定を結んでいるとのことでした。

そうなるなら、スーパーの在庫の分しか備蓄がないことになり、市でも備蓄をします。市でも備蓄をします。市でも備蓄をします。

また、母乳育児をしている人には、災害時にも継続できるようにパーテーションなどしっかり備えることを要望しました。

水道行政

ちょうど水不足の時

期で、水質調査とさらなる節水の呼びかけを提案しました。改めて安定的な供給のための行政の役割を果たさなければならぬと思います。

保育行政

発達支援児の保育について、待機児童になつていないか、保育園への補助など確認しました。市町村によつて発達支援保育の保育士加算の基準が違います。那覇市でも拡充して欲しいと訴えました。

重要土地等調査法

那覇市内の自衛隊施設等周辺一部が特別注視区域として指定候補とされています。市の意見として、注視区域への指定見直しを求めたのですが、住民説明会の開催は求めているという報道があつたので、国に説明会を求めようという要望しました。

その後、那覇市では県庁や那覇市役所、国際通りの一部も特別注視区域として指定されました。地元の見解を無視し、国は好き勝手できる関係、対等だと言えるのでしょうか。重要土地等調査法については、法律そのものに反対です。

新真和志複合施設

那覇市民会館跡に建設される新真和志複合施設。今後、市民の要望をどう反映するのか等聞きました。4月に入札及び提案書の提出を受け、5月に学識経験者等による選定委員会での審査及び開札、6月に落札者決定、9月議会で同意を得て契約締結を行う予定とのこと。

男女共同参画行政

那覇市審議会等委員会の女性登用促進を聞く、すべて男性の委員だということに驚きました。

今からでも追加できないか一般質問でも提案しましたが、

「65歳の壁」とは、障害福祉サービスを利用していた障がいのある方が65歳に到達し、介護保険サービスに移行することで、サービスの減少や利用事業所が変更になるなど、これまでのサービス利用状況に変化が生じることを指しています。

2月議会 一般質問2月22日

男女共同参画行政

審議会・委員会の女性登用について、女性ゼロの審議会等は2カ所。女性が一人しかいない審議会・委員会が全部で6カ所あることがわかりました。

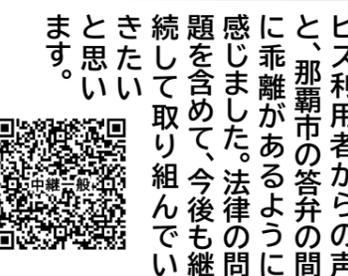
学校のメンタルヘルスについて

役割分担について質問したところ、養護教諭は児童生徒が心身の健康を保つことができるように指導。スクールカウンセラーは、児童生徒、保護者、教職員の相談、事件事故等の緊急対応における児童生徒の心のケアを専門的な立場から行う。寄添支援員は、家庭や学校、関係機関と連携して、児童生徒の取り巻く環境に働きかけることで課題の緩和を図っているということでした。

障がい者の65歳の壁について

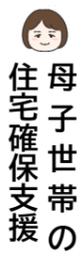
「65歳の壁」とは、障害福祉サービスを利用していた障がいのある方が65歳に到達し、介護保険サービスに移行することで、サービスの減少や利用事業所が変更になるなど、これまでのサービス利用状況に変化が生じることを指しています。

那覇市の状況を質問したところ、柔軟に対応しているというように答弁でした。サービス利用者からの声と、那覇市の答弁の間に乖離があるように感じました。法律の問題を含めて、今後も継続して取り組んでいきたいと思っております。



6月議会

一般質問6月13日



母子世帯の住宅確保支援

市営住宅の入居について、ひとり親世帯には、一般入居と比較して優遇した取扱いをしていますが、実際はどうなっているのか質問しました。

全国で家賃補助をしている自治体もあるのですが、那覇市でも検討したことがあるかを質問したところ、試算してくれました。

全体で平均入居倍率は過去2年間を見ると10、5倍。ひとり親家庭は5、4倍だということですが、入居できない場合、家計に占める家賃の割合が大きく、狭い部屋しか借り

児童扶養手当受給世帯約4,400世帯中、生活保護世帯、公営住宅入居世帯を除くと仮定した約3,300世帯に対し、月1万円を補助した場合、4億円の事業費となり、国の補助財源がな

いことから、全額一般財源での確保が必要になるということでした。

予算の課題がありますが、物価高騰に、家賃も高い地域で、公営住宅には入れない。何かしらの対応をすべきです。

このほか生活保護のケースワーカー等の住宅確保の同行支援について尋ねました。今年度から、国の補助金を活用し、生活困窮者及び被保護者のうち、住居を喪失または喪失するおそれのある方を対象に、物件とのマッチングや

女性の参政をもっと増やしたい！～女性たちの参政へのきっかけ～

5月14日、16日 19時～21時 牧志のブンガボンガにて

登壇者に、なぜ政治家をめざしたのか、子どもの頃のエピソード、イチ押し政策などを聞きながら、わきあいあいと進行しました。
2日間で延べ70人を超える方が参加。オンライン参加者から「この方のお話も素晴らしい、沖縄のテレビで放映してほしいくらい」というメッセージをいただき、企画してよかったです。と思いました。



今回の県議選挙で、定数48人のうち、女性8人(1人増)となりました。女性候補がない選挙区もあり、結果として女性比率は低いままで。女性の声をしっかりと政治の場に！これからも頑張ります。

同性カップル住民票 続柄表記
長崎県大村市の事例を元に那覇市の状況を聞きました。
那覇市パートナーシップ登録をされている世帯は申出によって「縁故者」にできるようにしているが、大村市のように(夫(未届)、妻(未届))にはできていない、総務省の見解を注視したいということでした。



なは市民協働大学院のチームで応募した東大COGのポスター展で銀賞受賞!

がたくさんいる中で、政府自民党がなかなか変えようとしにくいことには怒りを覚えます。市として、できる限りの対応を要望しました。

市民との協働 東大COG
東大COG(チャレンジャー)とは、東京大学公共政策大学院が主催し、地域課題の解決策を競うコンテストです。全国から36団体が参加。那覇市からは、昨年度のなは市民協働大学院修了生を含む6団体がエントリーし、ハーバード大学アッシュセンターイノベーション賞や連携体制賞など、各種の賞を受賞しました。

同性婚や選択的夫婦別姓制度など、苦しんでいる人や不便を感じている人がたくさんいる中で、政府自民党がなかなか変えようとしにくいことには怒りを覚えます。市として、できる限りの対応を要望しました。

でも、他の自治体は、事業のパートナーとしての担当部署、例えば下水道担当だったり、副市長が登壇したりという団体もあり、驚きました。
東大COGは、自治体が入りやすいように、自治体が、市民と協働しようという決意表明がエントリーではないかと思いましたが、全庁的な市民との協働の意識づけ、どの部署においても真剣に取り組んでほしいと要望しました。

※このほか、職場環境改善について、公立こども園の職員配置などについて、質問しました。



川崎の沖縄県人会の金城会長と事務局の玉城さん(中央2人)

あけもどろ那覇女性の会の新春の集い

那覇市長&女性市議との意見交換会

6月15日 福島瑞穂さん、高里幹代さんと
6月26日 琉球新報に「100cmの視界から連載中の伊是名夏子さん」と
6月26日 映画「プリズンサークル」の坂上香監督(右と)。来年1月5日に上映会開催予定です。乞うご期待!

★スナップ報告★
私は3月に東大COGの最終選考プレゼンテーション会場に行ってきました。行政担当者が一緒に登壇

答弁で「COGへの参加が、地域課題解決に取り組む市民の意欲向上につながる、行政職員との意見交換等を通して、市民と行政の協働による実践的な取り組みが可能となる」という説明がありました。

★たかこの議会エッセイ★
議会での「休憩します」は、文字通りの休憩ではない場合が多々ある。休憩中も実際は、あだこうだと話し合っていて、最終的に「休憩中に協議した通り、と決まりました」ということになるのである。議事録には休憩中のやりとりは記載されない。ということは、休憩中の話し合いで、誰が何をいつしているのかは、議事録を見る限りわからない。というわけで、だからこそ傍聴はおススメだ。

6月議会の議事録は、次の9月定例会の前日までHPに公開されます。

